

学校教育目標	夢に向かって 希望をもち ともにばたく いぶき野の子 ~温かい言葉 思いやりの心 笑顔あふれる学校~			
	【知】自ら課題を見つけ、試行錯誤しながらねばり強くやりとげることができる子を育てます。			
	【徳】思いやりの心を持ち、温かい言葉やあいさつをかわすことができる子を育てます。			
	【体】自分で健康を守り、体力をつけることができる子を育てます。			
	【公】まちやひととの関わりを大切に、社会の一員としての姿勢や資質を身に付けた子を育てます。			
【開】コミュニケーションを通して異なる文化や考え方を尊重し相互に理解し合おうとすることができる子を育てます。				

学校概要	創立 31 周年	学校長 大杉 昭雄	副校長 藤田 明彦	2 学期制	一般学級: 21	個別支援学級: 6
	児童生徒数:	706 人	主な関係校: 田奈中学校・長津田小学校・長津田第二小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	田奈中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
「言語能力」 「自分づくりに関する力」 「問題発見・解決能力」 「まちから育つ長津田の子」	田奈中学校 長津田小学校 長津田第二小学校 いぶき野小学校	○自ら学び、活用・探求し、未来を拓く知を想像する子ども ○道徳的に自立し、よりよく生きていこうとする子ども  ○自他の生命を尊重し、健康でたくましく生きていく子ども ○地域の人・社会・自然に学び、愛し、貢献していこうとする子ども ・あいさつを進んで行い、温かい言葉・思いやりの心による自他の人権尊重 ・「わかった」「できた」が飛び交う、達成感と笑顔あふれる授業づくり ・地域の人・社会・自然に愛着をもち、主体的に他者とのかかわる対話的学び

中期取組目標	<p>だれもが安心して、自分の夢に向かって成長していくことのできる学校創りを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの思いや考えを伝え合い、主体的に問題を解決していく力を育てます。</li> <li>・人とのふれ合いや関わり合いを大切に教育活動を展開し、互いに認め合い、思いやることのできる心を育てます。</li> <li>・心身の健康のために、進んで運動したり、毎日の食事を大切にしたりすることができる力を育てます。</li> <li>・地域の特色や地域教材を生かした教育課程を工夫し、まちの「ひと・もの・こと」とのつながりを意識した体験的な活動を通して、まちを大切にできる心を育てます。</li> <li>・学校、家庭、地域、諸機関の連携を密にして、安心して安全な学校生活が送れるようにします。</li> </ul>
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知	①めあてを示し、児童が見通しをもって授業に取り組み、「できた」「わかった」という達成感を味わえる授業づくりに努める。 ②「あたたかな聴き方シート」を年間を通して意識づけし、お互いの思いや考えを安心して伝え合える場面を設定し、学びを高め合える授業づくりを行う。 ③学習時の児童の「ふりかえり」を大切に、「次につながる」授業を意識した授業改善を図っていく。
徳 豊かな心	①クラブ、委員会活動、登校班での異学年の人や地域の人と積極的にかかわりをもつようにする。 ②あいさつ運動を実施したり、あいさつの大切さを持続的に指導したりして、気持の良いあいさつができる人間関係を育む。 ③道徳の時間を大切に、心の変容を位置づける。
体 健やかな体	①各学年に応じた運動(縄跳び・柔軟等)に取り組んだり、休み時間に体を動かす場所を校庭以外にも確保しながら運動経験を増やし、体力の向上を図っていく。 ②給食時間や食育タイム(月に1回)を使って、計画的に食についての指導をし、食に対する興味・関心をもたせる。 ③すこやか会議を通して、自分の健康を守るためにできることを全校に発信し、継続して取り組んでいく。
公 開 キャリア教育 (自分づくり)	①「生活科」「総合的な学習の時間」を中心にまちの「ひと・もの・こと」と、積極的にかかわり、問題解決的な学習を展開していく。 ②和太鼓やお囃子などの演奏体験活動を通して、次代につながる伝統文化や、人の生き方、まちの一員としての意識を高める。 ③自分づくりパスポートを活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育てる。
いじめへの対応	「誰もが安心して豊かに生活できる学校」であるために、担任以外にも相談できる人が複数いることを伝え、問題解決にあたる。 ①アンケートやYP、長期休み後の面談などを年間複数回行い、児童一人一人の心に丁寧に寄り添う。 ②定例会の他、必要に応じていじめ防止対策委員会を実施し、認知したいじめを全職員で共有し、組織的に解決していく。 ③日常の学習や道徳の時間を有効に使い、いじめは絶対にいけないという人権意識を育てる。
人材育成・組織運営(働き方)	①OJTを企画・運営するミドルリーダーとメンターリーダーを中心に、職員同士で自主的に学び合う組織づくりに努める。 ②学校運営協議会の助言や学校評価等からのデータをもとに、教職員それぞれが広い視点で目標を定め学校運営に参画する。 ③キャリアステージに応じた目標と具体的取組を設定(自己観察書)して公務に取り組むことで教師力の向上を目指す。 ④モジュールを効果的に活用したり、留守番電話の設定時間を見直し、放課後の教材研究に充てられる時間を確保する。
特別支援教育	①保護者と教職員の連携を図り、思いを共有し環境や体制を整える。(複数の相談窓口や支援があることを周知する。) ②全職員で情報を共有する場をもち、児童へ適切な支援ができるようにする。 ③TT(チームティーチング)や取り出しによる学習支援をする。 ④学校外の諸機関とも連携し、必要に応じて支援を要請する。
地域学校連携	①行事や授業を参観してもらう機会を作り、学校の特色や良さを知ってもらう。 ②令和4年度から立ち上げる田奈中ブロック学校運営協議会において、経営方針や行事等について協議し、ブロックで共に高めあっていく。 ③地域、家庭との交流や連携を深め、地域の学校として「ひと・もの・こと」に積極的にかかわっていく。
担当	
担当	
担当	